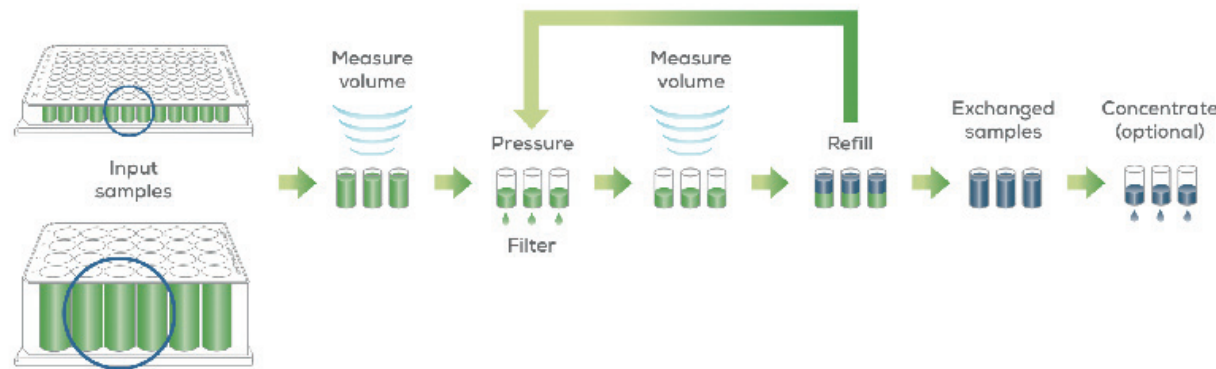


BIG TUNA

タンパク質に優しい設計

N2によるプレッシャーフィルトレーション、軌道式攪拌制御、Ultrasonic volume check（非接触）によりタンパク質に安全かつ優しい設計となっております。

2種類のプレートが使用可能。一度のランで最大192mlまでバッファー交換、濃縮が可能です。組み合わせは自由自在。1ウェル毎の条件設定が可能です。



サンプル管理から進捗表示まで

専用ソフトウェアがバッファー交換、濃縮の完了目安時間をお知らせします



掲載されている製品は試験研究用以外には使用しないでください。掲載されている内容は予告なく変更される場合がありますのであらかじめご了承ください。掲載されている社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

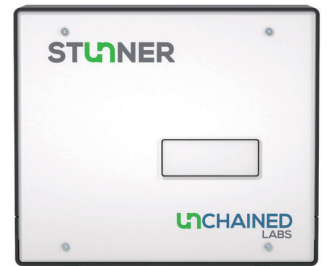
アデノ随伴ウイルス（AAV）研究を革新するソリューション

既存のテクノロジーで要していた時間とコストはもう必要ありません

STUNNER

わずか2 μ lのサンプルでたった数分で解析できます
ラベル、色素、スタンダードは必要ありません

- AAV キャプシドの力価
- キャプシド内の DNA Full & Empty %
- キャプシド凝集の有無



uncle

キャプシドが変性したのか、キャプシドが安定のままDNAが放出されたのかを見分けることができます

- 蛍光, 静的光散乱, 動的光散乱を同時測定
- 必要なサンプルはたった9 μ l
- AAV 評価に最適化した解析ソフト



BIG TUNA

AAV のバッファー交換・濃縮が全自動で完了します
ハイスループット解析にむけたボトルネックを解消します

- 96 サンプルを一度に交換・濃縮可能
- サンプルに優しい UF/DF 工程を採用
- 10kDa, 30kDa, 100kDa の再生セルロースメンブレン用意



UNCHAINED LABS

Unchained Labs 株式会社

東京都千代田区神田須田町 2-9-2 PMO 神田岩本町 3 階

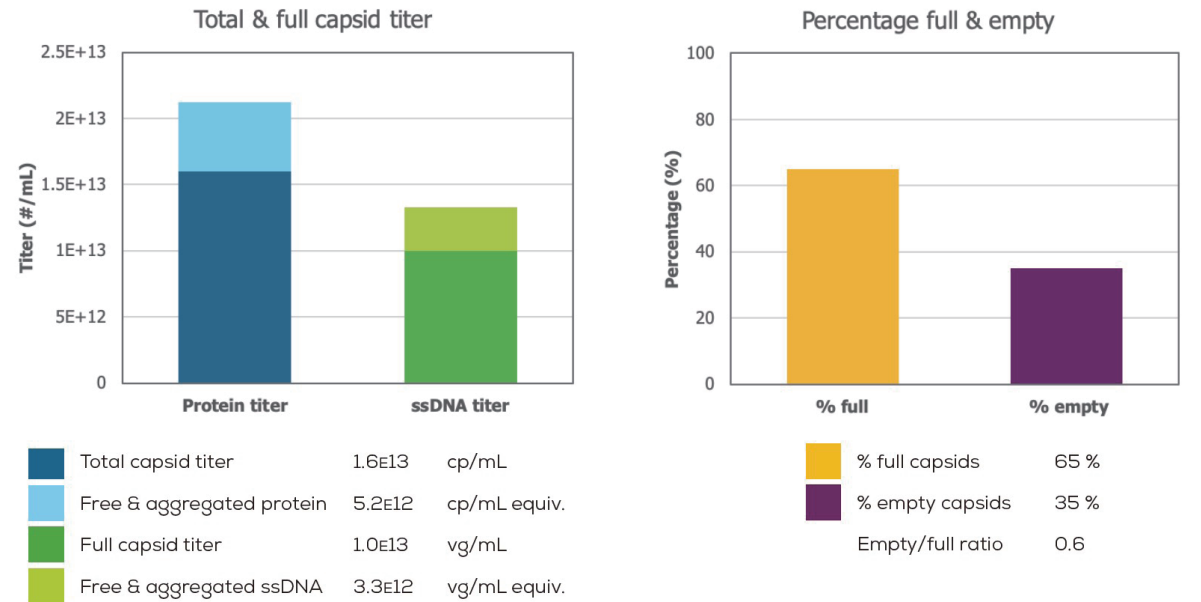
TEL : 03-3526-2811 E-MAIL : info@unchainedlabs.com

<https://www.unchainedlabs.jp/>

UNCHAINED LABS

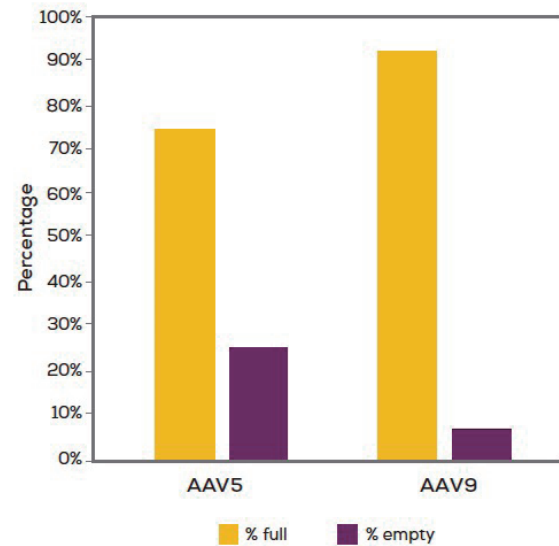
STUNNER

UV/Vis吸光度、DLS、およびSLSを組み合わせることで、StunnerはAAVの総キャプシド力価、Fullキャプシド力価、遊離および凝集したキャプシド、遊離および凝集したssDNAそして、%full, %empty、およびそのratio を得ることができます



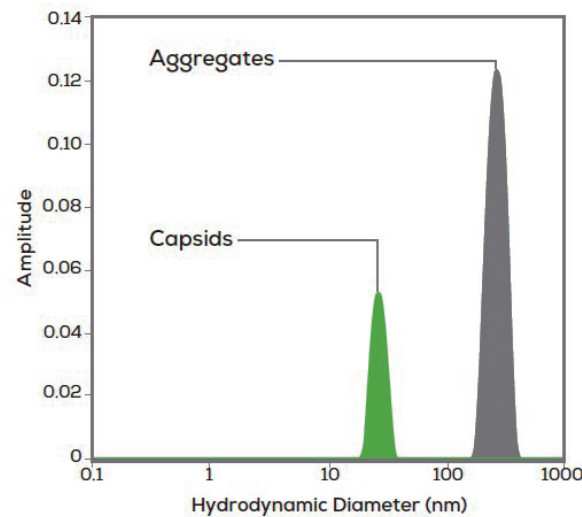
あらゆるSerotypeの力価解析

Stunnerは異なるAAVについて分析可能です。プリロードされた Serotypeを選択することで、AAVの仕様を指定することで、簡単にキャプシド力価とFull/Empty ratioを確認できます。



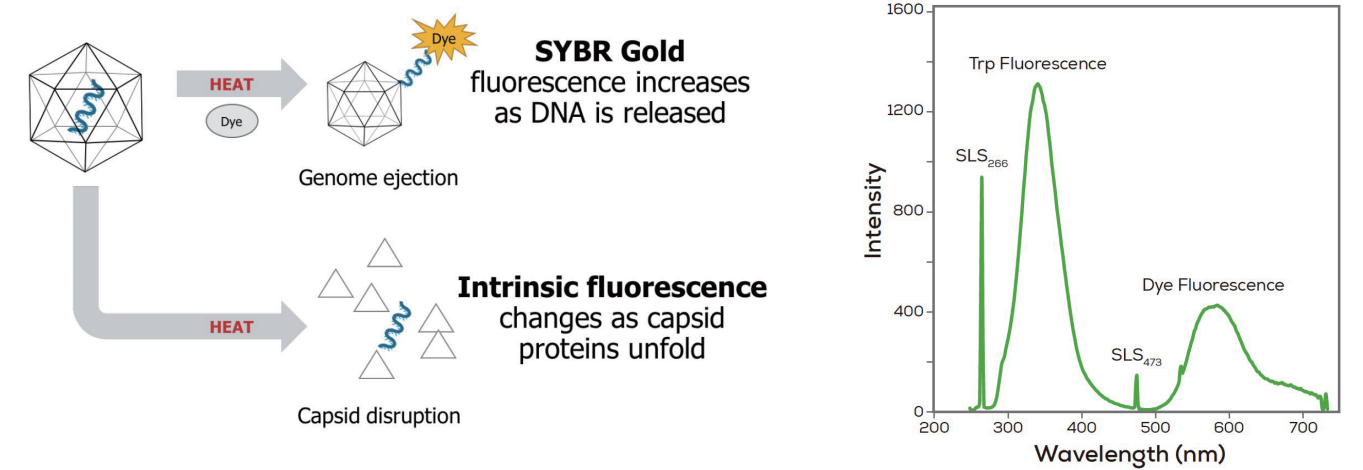
凝集サンプルを回避できます

DLSは、AAVが単分散であるかどうかをチェックして、凝集を起こしているAAVを回避することができます。



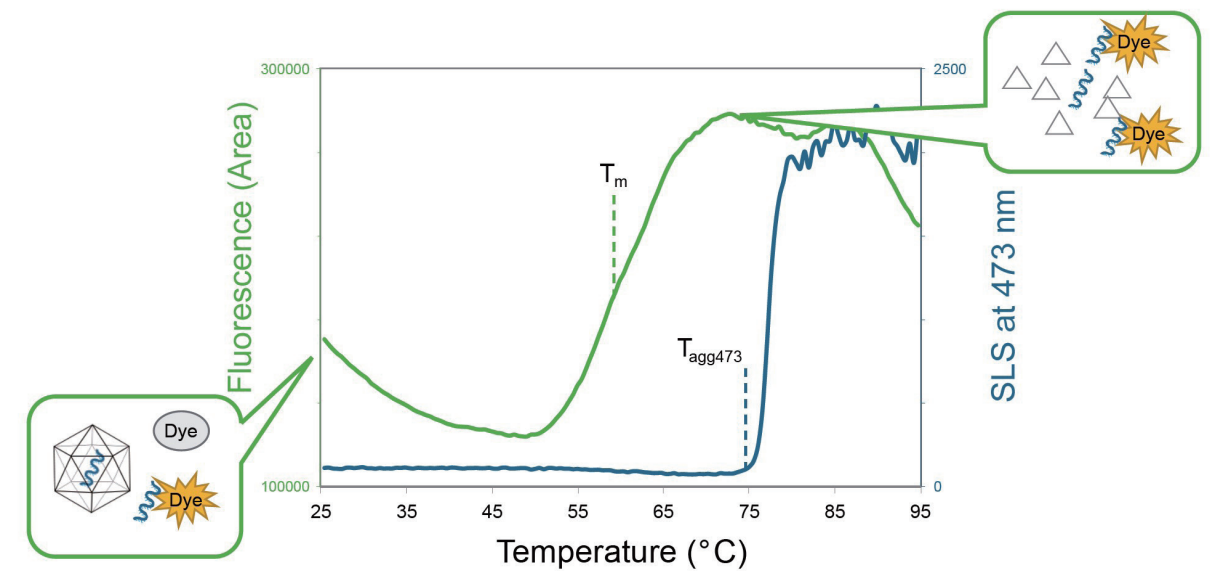
uncle

フルスペクトル蛍光検出法により、変性経路の追跡を可能にしました。熱安定性評価におけるAAVの分解により、DNA放出およびキャプシドの破壊を解析します。DNAが正しく放出される場合、キャプシドは無傷で残り、DNAが放出されます。一方でキャプシドの破壊は、キャプシドタンパク質が変性し、キャプシド構造が失われた時に生じます。



AAVの安定性評価

AAVからのDNA放出は、Uncleの蛍光、SLS およびSYBR Gold蛍光色素により検出します。サンプル中の遊離DNAまたは残留DNAはSYBR Goldに結合し、結果として最初の蛍光シグナルが発生します。次に、色素シグナルは温度依存性であるため、温度が上昇するにつれて弱まります。その後、キャプシドからのDNA放出により、蛍光強度が強まることが確認できます。この強度変化を使用して、サンプルのT_mを約57°Cと確認することができます。



DNAに結合したSYBR Goldの蛍光強度に基づくゲノム放出融解曲線（緑色）、および1E13 vg/mLのAAV9のSLS473強度曲線（青色）